

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	国連開発計画拠出金		担当部局	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～		担当課室	海洋政策課		課長 米田 浩		
会計区分	一般会計		施策名	4 海洋・沿岸域環境や港湾空間の保全・再生・形成、海洋廃棄物処理、海洋汚染防止を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東アジア海域における海洋の開発と海洋環境の保全との調和を目指す枠組みである「東アジア海域環境管理パートナーシップ(PEMSEA)」に対して資金的な支援をすることにより、我が国が接する東アジア海域の海洋環境の改善を目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	PEMSEAは東アジア海域における海洋の開発と海洋環境の保全との調和を目指した11ヶ国が参加する国際的な協働の枠組みで、国連開発計画(UNDP)の下でプログラムを実施している。我が国は2002年に同枠組みに参加し、2007年からはその事務局運営費の一部を拠出している。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	14	13	12	11	10	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	14	13	12	11	10	
	執行額	14	12	12				
執行率(%)	100.0%	92.3%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	我が国の沿岸に重大な被害を及ぼす海洋汚染等の件数		成果実績	件	0	0	0	-
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	PEMSEAの運営経費にかかる拠出金であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
						(-)	(-)	
単位当たりコスト	-		算出根拠	拠出金であり、単位当たりコストの算出にはなじまない。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	国連環境計画等拠出金 (国連開発計画拠出金)	11百万円	10百万円	外国為替レートの変動による要求額の減				
計	11百万円	10百万円						

計数は、原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 我が国からの拠出金は、UNDPに対し、使途及び使用実績の報告を受けた上で支出しており、かつ、当該資金の活用主体であるPEMSEAの事業計画・予算・執行状況についてもPEMSEA Partnership Council Meeting (PEMSEAパートナーシップ会合)において各国と調整の上、承認している。 PEMSEAは東アジア海域の11ヶ国が参加する枠組みであり、その事務局運営費を日本・韓国・中国の3ヶ国で負担することが合意されており、支出を行わないことは不可能であるが、加盟国とも連携を図りつつ、引き続きPEMSEAに対して効率的な運営を求めていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		国際約束で決められた分担金を支出しなければならないことから、現状通りとする。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入

国土交通省
12百万円

【拠出金】

A. 国連開発計画(UNDP)
12百万円

東アジア海域環境管理
【パートナーシップ(PEMSEA)
の運営

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A.国連環境計画(UNEP)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
活動経費	人件費、職員旅費、等	44			
	中国、韓国、日本により拠出された 運営費全体の使途(2010年)				
	上記の内、日本負担分	12			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.国連開発計画(UNDP)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国連開発計画	「東アジア海域環境管理パートナーシップ(PEMSEA)」に対する支援	12	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					